



# 写真で振り返る春日部市

再開発が進み、より住みやすく生まれ変わっている春日部市。

そこで、移り変わる春日部市を写真で振り返ってみました。懐かしい風景にさまざまな思い出が浮かんてくるかも。

## 春日部市役所

1970年に建設された旧庁舎は旧耐震基準の建物だったため、2021年より旧市立病院敷地に新庁舎の建設がスタート。2024年1月に開庁した。新庁舎は「人に優しく、災害に強い、市民に親しまれる庁舎」を基本理念とし、ホール、レストランや広場が併設され、まちのにぎわいを創出している。

旧庁舎(2009)



①美しい曲線を持つ旧庁舎。2024年10月から取り壊し工事が進められている

新庁舎建設中(2022)



おしゃれな市役所になったね～！

新庁舎



①新庁舎は「2024年度グッドデザイン賞」を受賞している

## 春日部駅東口

鉄道高架の工事に伴い、2023年2月3日の最終電車で124年の歴史に幕を閉じた春日部駅東口の旧駅舎。同年2月4日から使用が開始された新しい仮駅舎は、鉄道高架の工事期間中の10年ほど使用する予定のこと。工事終了後の東口が、どのように生まれ変わるのが楽しみに待ちたい。

以前の春日部駅東口(2010)



現在の春日部駅東口



駅もずいぶん変わった！

①最終日には多くの人が訪れ、旧駅舎の様子を撮影したという②現在は仮駅舎を使用中の春日部駅東口だが、多くの市民が利用することに変わりはない

## 春バス

市民の足として多くの人に利用される市コミュニティバス「春バス」。以前は緑を基調としたシンプルなデザインのものだったが、2016年から『クレヨンしんちゃん』がデザインされたラッピングバスの運行がスタート。車両の外側だけでなく、車内にも『クレヨンしんちゃん』のキャラクターが描かれている。

2016年までの春バス



しんちゃんラッピングの春バス



①春日部市の市章がデザインされた、緑を基調としたシンプルな春バス。懐かしく感じる人も多いのでは？

②子どもたちからデザイン案を募集する「春バスラッピングコンクール」で採用された作品をもとに、新たなデザインのバスも順次登場する

## 中央町第一公園

約1万2,000m<sup>2</sup>もの面積を持っていた中央町第一公園。市民の憩いの場として愛されてきたが、惜しまれつつも2014年に廃止された。跡地には2016年、春日部市立病院が春日部市立医療センターと改名して新築移設。新たな中央町第一公園は、市役所旧庁舎の解体後の跡地に整備される予定となっている。

中央町第一公園(2011)



①中央町第一公園は緑豊かな公園で、多くの市民に親しまれていた

医療センター建設中(2014)



医療センターに変身！

春日部市立医療センター



②春日部市立医療センターは、延べ床面積が旧病院のおよそ1.5倍になった

市役所新庁舎と医療センター建設中の写真を提供してくれた高井日年さん。市内のさまざまな写真を撮り歩く高井さんに、移り変わる春日部市への思いを聞いた。

「大規模な開発などで、春日部市の風景もずいぶん変わりました。便利になる一方で、変わりゆく景色にさみしさを感じつつカメラを向けることもありますが、変化していく楽しさもありますね。古い写真を見返すと、こんなものも撮っていたんだ、と自分でも忘れていた風景に出会うこともあります」



①内牧にて、今は梅林とオオアラセイトウの風景(2004年撮影)②新町橋下流にて、今は川舟(2011年撮影)

## 春日部市 Walker

2025年9月12日発行

企画編集 一般社団法人春日部市観光協会

発行 春日部市

制作 株式会社角川アスキー総合研究所

[マークの見方] 圈…住所 圈…会場 圈…電話番号 圈…営業時間 圈…定休日 圈…料金 圈…席数 圈…駐車場 圈…アクセス ※掲載データは2025年8月31日時点のものです。紹介施設の価格や定休日、内容、データなどの変更のほか、季節により取り扱いがない場合がありますので、ご利用の際は事前にご確認ください。また、定休日や営業時間は年末年始、ゴールデンウィーク、お盆など長期休業については反映しておりません。※本誌に掲載された内容により生じたトラブルや損害等については補償いたしかねますので、あらかじめご了承のうえご利用ください。※本誌の無断複製(コピー、スキャン、デジタル化等)並びに無断複製物の譲渡および配信は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。また、本誌を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内の利用であっても一切認められておりません。